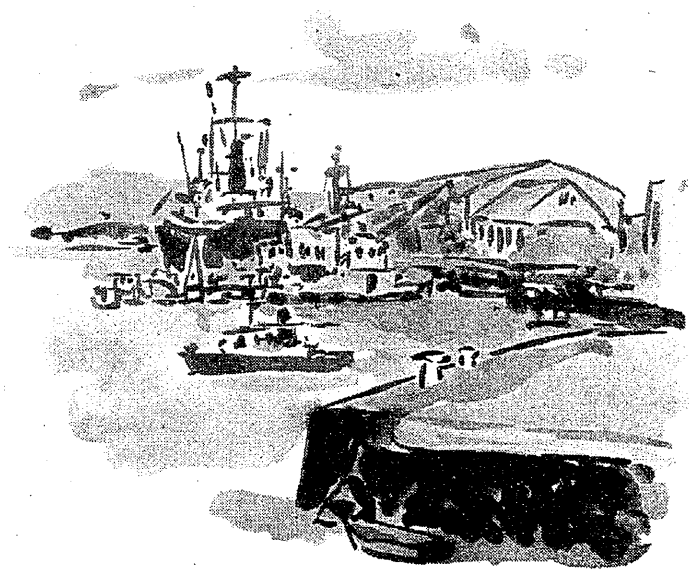
海と船と港



船渠から。左遠方は万田山。建物は渠内倉庫。

三池港

画　姉川良男

1987年 今年はどうなる

ポスト中曽根？

中曽根総裁の任期は最高でも十月末まで。常識的には再延長はなく、ポスト中曽根は例の三人が争うのですが、この三人、一長一短あるんですね。

まず竹下登自民党幹事長。党内最大派閥で、数の上では最短距離につけているんですが、泣きどころは、派内に反竹下系を抱えていること。派内一本化ができれば最有力でしょう。

安倍晋太郎自民党総務会長。宮沢派よりも数が劣る上、安倍氏の評価が党内でも定まっていないんですね。「人柄の良さ」だけでは弱いわけです。

残る宮沢喜一蔵相。どうも最有力のようです。理由は、経済に強いというので、米国で中曽根の後継者として宮沢株が上昇していること。しかし、新型間接税導入、マル優廃止で蔵相として国民の批判の矢面に立たされていては、人気は落ちるばかり。それがどう影響するか。

後継争いが激化するのは四月以降。いずれにしろ、醜い争いになることだけは確かでしょう。

統一地方選は？

衆参ダブル選挙で圧勝した自民党の勢いが統一地方選でもつづくのか、それとも税金、社会保障で国民に高負担を迫り、失言・暴言を乱発したしっぺ返しを受けるのか。試されるのは日本人の「知的水準」です。

統一地方選は四月十二日が十三知事選と四十四道府県議、二政令都市市長、同九市議選、四月二十六日が一般市町村長、同議会選挙の投票日です。

自民党の地方首長、議員は先の同日選を自分の選挙の前哨戦として、票固めをしました。その限りでは自民有利ですが、三百八議席を見て「勝たせすぎた」の声が多くあったのも事実。おごる自民は久しからず…。

大不況が来る？

一九二〇年代末に世界を襲った大不況が、再び今年にもやって来るのでは、という不安がささやかれています。あの当時と似た一次産品の価格暴落、累積債務の増大、先進国間の国際収支不均衡があるためです。

米国の国際収支と国家財政の双子の赤字がなかなか改善せず、ドル暴落から世界大不況へ、また累積債務国の債務不履行宣言から先進国の金融恐慌へという不吉な展開が予想されています。

米国の双子の赤字は、まさに米国が覇権国家として軍拡に努めた結果生じたもの。米国産業の空洞化も民需より軍需を優先したため。世界大恐慌を防ぐには、核兵器廃絶を含む一大軍縮への合意が必要となります。

1月のことよみ

○…1日元日、初詣。2日書きぞめ。新年になって初めて書や絵を書くことをいい、江戸時代には恵方（吉方）に向かってめでたい詩歌の章句などを書いたといわれています。4日各官庁のご用始め、証券取引所などでの新年最初の立ち会いが行われる大発会。7日七草。せり・なずな・ごきょう・はこべら・ほとけのな・すずな・すずしろの七草で粥（かゆ）を作り、一年の万病を除くまじないにしました。いまは野原も少なくデパートなどで買わなければなりません。15日成人の日。この日新成人・人口調査が発表されます。お年玉年賀はがきの抽選会も行われます。29日根室・流氷初日（平年日）。

○…魚介・鶏肉・野菜などを適当に切って入れ、酒・みりんを加えてしょうゆで味付けして煮込んだ寄せ鍋は、冬の夜の団らんをあたたかく包みます。「舌焼きてなほ寄せ鍋に執(しゅう)しけれ」（水原秋桜子）。

○…季節風が時々強まり、太平洋側は晴れた日が多く、寒いと予報されています。

新春スター訪問

欲ばってアクティブに

新しい役にチャレンジ　荻野目慶子さん

NHKドラマ「武蔵坊弁慶」で、弁慶の妻・玉虫の役が記憶に新しい荻野目慶子さんだが、四月からのNHK銀河テレビドラマ（題未定）では、一気に現代に舞台を移し、活発で行動力ある女の役を演じるという。

「玉虫は昔の理想の女性像で、いちずに相手も自分も信じきる女。それも悪くないけれど、私はいろんな事に興味があって飽きっぽい性分なので、こうと思ったらパーッと飛び込んでしまう女性役の方が、耐えて耐えて、という役よりも似合っていると思います」。

平安女性風のたおやかさが似合ってみえる風情だが、センスはまさに今を生きるアクティブ・レディである。

演じたい女のタイプはまだまだ多い。

「ヒッチコックの映画のなかの女性が好きですね。知的で純粋で、そして騙されやすくて…（笑）。と―っても可愛く見えるんですよねぇ。なかでも『断崖』のジョン・フォンティーンなんて素敵だと思います」。

幅広さは演じたい女の魅力の多様さばかりではない。私生活でもさまざまの経験が積みたいそうだ。

「仕事をもちながら、家庭ももちたいし、子どもも産んでみたい。その前に、結婚相手を見つけなきゃならないわけですけど」（笑）。

テレビ出演以外に映画、演劇にも活躍してきたが、今、一番出演したいのは映画だという。

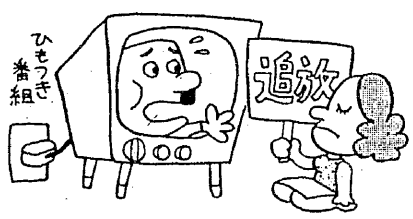
「舞台っていうのは、まだよくわからないんです。演じるのに精一杯で、お客さんの反応をみるなんて余裕はまだまだです。やりたいのは映画。とはいっても、今、映画は正直言って難しいと思いますね。みんなの関心が他人よりも自分に向いてるでしょう。前なら『あの人、すてき』とかあこがれたけど、今は自分を演出する、ファッションとかスポーツなんかで、そういうことにみんなの関心がいっちゃってるから」。

とはいえ、映画への思いはどうにも止み難いようだ。

「何十人もの人が集まって一つの作品を創る、その時のワン・ノブ・ゼムの感覚が好きなんです。それぞれのひとが力や情熱を出し合って、終った時に『万歳』っていう感じ、いいんですよねぇ」―「共に」を大切にする大好きな一面がうかがえた。

新春テレビ案内

長編劇で各局対抗



お正月の三カ日、お茶の間の最大の娯楽はやはりテレビでしょう。しかし、最近は「活字離れ」に続いて「テレビ離れ」が関係者の間で深刻に語られ始めているのが実情です。

日頃、テレビから流されてくるものに「見ごたえ」のあるものが少なくなり、賑やかなクイズ番組などが〝人気〟を誇っている裏側で、低予算・外注・合理化によってスタッフや俳優たちの苦しい状況が拡大しています。

そんな中で、お正月番組だけは豪華で内容豊かなものをと各局がエネルギーを注いでいるようですから、期待して見てもよいのでしょう。

ここでは、ドラマに絞って紹介してみましょう。

元旦の夜。六時からTBS系で「太閤記」が四時間半の長編ドラマとして、柴田恭平などの出演でコメディ・タッチの作風に老練な手腕を発揮する岡本喜八監督が演出を担当しています。九時からは、TV朝日系で「女たちの森」。檀ふみ、所ジョージの初顔合わせのラブ・ストーリーの展開を、北海道から九州まで九種のお雑煮の紹介とからませた〝旅とグルメ〟のコメディー風三時間ドラマです。同じ九時から日本TV系では古手川祐子と沢口靖子が共演する「春の姉妹」。鎌倉、スイス、パリを舞台にかまぼこ店の老舗の人間模様を軽いタッチで描く二時間半の番組で、映画監督の出目昌伸が演出しています。

二日、昼十二時よりTV東京系で恒例の超長編ドラマ（十二時間）は「風雲江戸城・怒濤の将軍徳川家光」。前回と同じ北大路欣也主演に豪華けんらんたる絵巻の展開は、時代劇ファンを満足させてくれるでしょう。

同じ二日の夜、NHKで七時十五分からの二時間ドラマ「旅はおしゃれに」は、若尾文子の主演、小林稔侍、真野あずさ、白川由美、岡田真澄らの共演で、一人娘を嫁がせたら亭主に嫌気がさしてきた四十九歳の主婦が〝別れ話〟を持ち出して起きる騒動を、軽井沢、湯田中など信濃路を舞台にユーモアこめて描く物語です。TV朝日系の夜八時からは人気の高い「必殺」シリーズのスペシャル番組「必殺・忠臣蔵」で、おなじみの藤田まことがどんな活躍をみせてくれるのでしょうか。

三日の夜九時、フジTV系は八千草薫、十朱幸代、小川知子、平幹二朗、国生さゆり等の豪華キャストの三時間ドラマ「華麗なる女たち」の軽井沢とハワイを舞台にホテル乗っ取りをめぐる復讐劇がくりひろげられます。同じ九時からTBS系は原作が売れている「翔んでる警視・パートII」が二時間ドラマで放送されます。